

ネイチャー高知

No26 2006年2月15日発行

私のフィールドノート その1

田んぼで遊ぼう

田城 光子

2000年秋。30年以上たずさわってきた看護の仕事を退いた。二つの病院の統合による新病院への移転、新しい人間関係によるストレス、通勤距離の延長。新体制の中での激務による過労ですっかり体調をくずしてしまい、これ以上仕事を続ける自信を失ってしまった。定年まで数年を残しての退職だったので、周囲の人々は「もったいないことよ」と言ってくれる。そのたびにわたしは喪失感を強めていった。

そんな時、高知県植物誌の出版に向けて、植物調査ボランティアの募集広告を目にした。

もともと植物には関心があった。趣味の山登りや自然観察をする中で、注目するのは植物だった。でもそれは名前が分かればうれしいが、分からなくてもきれいな花が見られたらそれでよい、という程度のものだった。夫が若い頃からずっと植物にかかわっていたので、珍しいものがあればついて行って教えてもらって記憶に留める、そんな植物との付き合いを長くしてきた。退職後、カルチャー教室にもいろいろ入ってみたが、どれもわたしの心を満たしてくれるものはなかったし、自然の中の教室がわたしには一番合っているような気がした。そして、植物誌の調査チームに加えていただくことになったのである。

初めて調査に行ったのは、よく手入れのされた棚田の周辺。ここは今までに何度もいろいろな花を見に来て、耕作者のご夫妻ともすっかり顔なじみになっていた。レッドデータブックに記載されているような植物がうじゃうじゃ自生している。里山の植物の宝庫だ。以前この棚田では、近くの小学生たちと自然観察会もした。わたしの友人がこの小学校の先生をしており、こどもたちに身近な自然に触れて生命の多様性を感じて欲しいという思いが膨らんだ。それには里山で遊ぶのがいいということになり、おじいちゃん、おばあちゃんが毎日農作業にきているこの棚田を選んだのだ。

わたしたちが子供の頃は、田んぼの周辺はよい遊び場だった。夏の夜は蛍狩りをしたし、秋にはイナゴを捕って串刺しにして焼きおやつがわりにした。ガキ大将はヘビを振り回して女の子たちを振るいあがらせた。でも今田んぼや里山で遊ぶ子供はいない。カブトムシもメダカも、ホームセンターで買ってくるものと思っている。



稲刈りの後の田んぼは、たくさんの水田雑草がひしめきあっている。花柄のじゅうたんのようだ。よく見ると田んぼごとに微妙に生えている草が違う。同じカヤツリグサ科の植物が大群生している田んぼもあれば、たくさんの違う植物が混生している田んぼもある。小型の植物がほとんどで、花も小さい。老眼の目にはどうがんばってもはっきりと映らない。そこで、10倍の虫眼鏡（ルーペ）を使うことを教えられた。植物観察にはルーペは必需品であることを知る。この時から、わたしの首にはいつもドイツ製のルーペがぶら下がることとなった。

ルーペで見るとどんな小さな花でも、生えている毛までが鮮やかに見える。そして一見なんの変哲もない花にも、それぞれに子孫を残していくためのさまざまな工夫や知恵があり、どれひとつとして無駄がないことに気がついた。そしてその工夫や知恵は自身のためだけでなく、周囲の虫や鳥や人間をふくめたたくさんの生命をささえるものであることも。

小さくても新しい発見は感動を呼び、次のさらなる興味を誘う。たった一枚の小さな田んぼにも、入れば簡単に出てこられないほどの興味がつまっている。かわいたスポンジが水を吸うように、わたしの中に植物たちはどんどん入ってくれた。こうしてわたしは、毎週の山登りも田んぼや池で泥んこになりながらの植物採集も苦にならないほど、心身ともに健康を回復していった。わたしには、田んぼや道端の雑草が輝いて見えるようになったのである。

連載「わたしのフィールドノート」が始まりました。

大方町在住の田城光子さんの「わたしのフィールドノート」を今回から連載することになりました。田城光子さんは、当会世話人の田城松幸さんの奥さんで、「わたしのフィールドノート その1」にあるように、看護婦さんとしての勤めを引かれてから、牧野植物園が取り組んでいる高知県植物誌作成のための植物調査ボランティアとして、活躍されています。どのような活躍をされているかは、この場での紹介は差し控えますが、田城さんによって四国ではじめて確認された植物もあり、今後の連載にご期待下さい。

「ネイチャー高知」の原稿を募集しています

「ネイチャー高知」は、高知県自然観察指導員連絡会の機関誌として、1月、7月の年2回発行しています。内容については、自然保護の取り組みや自然をテーマにしたエッセイ、フィールドの紹介など、当会の活動に関するものでしたら、何でもけっこうです。より多くの会員の方の投稿で、内容の豊かな機関誌にしていきたいと思っておりますので、どしどし投稿下さい。

会費納入のお願い

2005年度は会費の納入率が悪く、会の財政状況が悪くなっています。会費を納入していただけてない会員の皆さまの状況については、改めて別途、個別にお知らせしますので、以前から未納になっている分も含めて、納入にご協力をお願いいたします。会費(年額1,000円)の納入は、郵便振替が便利ですので、郵便振替をご利用下さい。なお、前々回のニュースレターでもお知らせしましたが、4月から振込料が70円から100円に値上げされますので、ご注意下さい。

郵便振替の口座番号 01630-9-41422
加入者名 高知県自然観察指導員連絡会

(前々回のニュースレターで口座番号、加入者名の記載が抜かりまして、ご迷惑をおかけしました。)

「ネイチャー高知」高知県自然観察指導員連絡会会報

No26

事務局 高知市朝倉南町3-51-1 坂本彰方

TEL&FAX 088-850-0102

E-MAIL akira@baobab.or.jp